

令和元年8月5日

## 教員の公募について

国立大学法人 三重大学  
大学院生物資源学研究科長  
[公印省略]

### 1. 職名・募集人員

教授あるいは准教授 1名

### 2. 勤務形態

常勤（任期なし）

### 3. 所属

生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附属施設水産実験所

### 4. 附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンターおよび附属施設水産実験所の教育と研究内容

生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンターは、山から海までの多様な環境における生態系の知識を学生に体験的かつ体系的に理解させる実習教育を行うとともに、生物資源生産技術や環境管理技術の開発にかかわる基礎・応用研究を行うことを目的として生物資源学研究科の附属教育研究施設として設置されています。本センターはそれぞれの立地的特性を活かしながら総合フィールド科学の教育研究拠点としての役割を果たすために、紀伊・黒潮の山地森林から沿岸域にある附属施設演習林（津市美杉町）、附属施設農場（津市高野尾町）、附属施設水産実験所（志摩市和具・座賀島）の3施設から構成されています。この中で附属施設水産実験所は沿岸域の教育研究拠点としての役割を担っており、海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に対して多面的な視野からの解決能力を有する人材を育成して豊かな社会の実現に貢献することを目的に、海洋の沿岸域に生息する海洋生物とその生息環境の特性を理解し、生物資源としての有効かつ持続的な利活用を行うための教育・研究を行っています。

### 5. 担当予定授業科目

[学部]

水産学総論、海洋生物資源学概論、海洋生物資源学演習Ⅰ・Ⅱ、フィールドサイエンスセンター体験演習、臨海実習、卒業研究など

[大学院博士前期課程]

海洋生物学特論、水産生物学特論、海洋生物学特別研究Ⅰ、海洋生物学特別研究Ⅱなど

[大学院博士後期課程]

特別演習、特別実験、特別調査研究など

(学部、大学院とも専門性に応じて担当科目を新設することがあります。)

## 6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。
- (2) 水産学の分野で、魚類、無脊椎動物、藻類などの水圏生物の研究と教育に従事し、この研究領域において優れた研究業績と競争的研究資金の獲得実績を有すること。また、特に水圏におけるフィールド教育・研究に豊富な経験を有する者。
- (3) 水産実験所において海洋生物学系の実験・実習等を担当できること。
- (4) 国際的な共同研究等の実施に意欲を有し、海外からの留学生の指導が可能であること。
- (5) 地域圏大学としての三重大大学の目標を理解し、また、地域に根ざした水産実験所の教員として、地元の漁業者等を対象とした助言や指導、および地域創生につながる自治体・地元企業等との研究や高大連携活動に積極的に取り組む姿勢があること。
- (6) 着任後は、附帯施設水産実験所の教員として、附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンターの運営、各種委員会等の活動にも積極的に関わること。
- (7) 小型船舶操縦免許（一級または二級）を有していること（着任後の取得も可。）
- (8) 地域連携・地域創生に関する十分な実績を有すること。

なお、本水産実験所では、鳥羽市への移転計画を進めていることを申し添えます。

＊男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

## 7. 応募書類（A4版、各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付、高等学校卒業以降の学歴、職歴、博士取得年月日と博士論文題目、所属学会、その他学会賞などの受賞歴、資格など）
  - (2) 業績目録
    - ・原著論文、国際学会プロシーディング（査読付）著書、総説・解説、特許、その他に区分し、新しいものから順に並べ、番号を付すこと。
    - ・原著論文に関しては、査読制度の有無を記載し、応募者が筆頭著者、責任著者である業績番号には\*を付すこと。
    - ・原著論文については、各業績の概要、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（200字程度）を添えること。
  - (3) 上記研究業績目録に対応する論文の別刷（コピー可）（代表的なもの5編以内）
  - (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績等一覧（研究代表と分担の場合を分けること）
  - (5) 教育に関する実績一覧
  - (6) 社会貢献・地域貢献に関する実績一覧
  - (7) 大学等での管理運営に関する実績一覧
  - (8) これまでの研究に関する概要（1000字程度）。なお、業績目録（2）の原著論文のみを引用し、その他は代表的な文献の整理番号を引用すること。
  - (9) 着任後の教育・研究活動に関する抱負（1000字程度）
  - (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
  - (11) 応募者についての照会先（2名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレス）
- なお、応募書類の返却はいたしません。

## 8. 応募期間

令和元年8月5日（月）～ 令和元年9月26日（木）（必着）

## 9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。面接の場合の旅費は、自己負担となります。

## 10. 着任時期

令和元年12月以降のできるだけ早い時期

## 11. その他

本学では現在のところ月給制が採用されていますが、今後の年俸制導入に向けた検討が進められています。学内規程の改正などの状況によりまして、新規採用教員については年俸制が適用されることがあります。

## 12. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 番地

三重大学大学院生物資源学研究科

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター長 教授 松村 直人

（持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「水産実験所教員公募書類在中」と朱書きのこと）

## 13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 番地

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 海洋生物学講座

講座主任 教授 古丸 明

TEL: 059-231-9527（直通）

E-mail: komaru@bio.mie-u.ac.jp

## 14. 参考

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター専任教員一覧

	教授	准教授	助教
附帯施設農場	奥田 均 [選考中]	長菅 輝義 三島 隆	
附帯施設演習林		沼本 晋也	湊上 佑樹
附帯施設水産実験所	[本公募] ※		

※大学院博士前期課程においては、生物圏生命科学専攻・海洋生物学講座の所属となります。

また、審査の過程で、候補者の専門性に応じて、海洋生物学講座を構成する教育研究分野への配置を決定することになります。博士後期課程においては、生物圏生命科学専攻・海洋生物学講座の所属となります。

生物資源学部および生物資源学研究科のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

生物資源学研究科附属教育研究施設のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/facilities/>